

入試改革「実施方針」 を正確に読む！

【Part.1 共通テスト】ポイントを箇条書き！

旺文社 教育情報センター 29年7月31日

文科省は今日 13 日、入試改革に関わる一連の資料「高大接続改革の実施方針等の策定について」(いわゆる「実施方針」)を公表した。これまで議論を重ねてきた入試改革がいよいよ本決まりとなり、33 年入試での実装へ向けて動き出したことになる。

高校・大学現場ではまず、これらを正確に読み込むことが何よりも必要だ。そこで本記事では、実施方針の内容を箇条書きにしてまとめた。全 3 回に分け、各記事はそれぞれ以下の資料を扱っている。

【Part.1 共通テスト】 「大学入学共通テスト実施方針」

「大学入学共通テスト実施方針策定に当たっての考え方」

【Part.2 各大学個別入試】 「平成 33 年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告」

【Part.3 基礎診断】 「『高校生のための学びの基礎診断』実施方針」

本記事では Part.1 として、共通テストについて見ていく。なお記事中では以下の表現をしている。

・新カリ入試 … 新学習指導要領での入試

全体

- ・目的＝大学入学希望者を対象に「高校段階での基礎的な学習の達成度を判定」「大学教育を受けるために必要な能力を把握」。
- ・「知識・技能」の評価も行いつつ、「思考力・判断力・表現力」を中心に評価。
- ・教科・科目は現行ママ。新カリ入試から簡素化。
- ・記述式を導入。
- ・英語は 4 技能。検定を活用。
- ・1 月中旬の 2 日間に実施。
- ・32 年度（33 年入試）スタート。
- ・詳細は 31 年度初頭の「実施大綱」のほか、順次公表。
- ・大学への成績提供は、「記述&マーク」の結果をあわせて。現状（1 月末～2 月初旬）から

